

イワナ（無斑タイプ）

サケ目イワナ科

石川県カテゴリー 地域個体群

国カテゴリー なし

Salvelinus leucomaenis pluvius (Hilgendorf)

選定理由

無斑イワナはイワナの一地方変異と考えられている。しかしこれまで県内のごく限られた水域でのみ確認されていることから、今後も遺伝子の攪乱に注意を払う必要がある。

形態

体表上に白色や赤色の斑紋がまったく無いか、あってもわずかである。

国内分布

山形県、石川県。

県内分布

白山市。

生態

手取川水系の最上流部、標高1100m付近の狭い範囲にのみ生息が確認されている。

生息地の条件

夏季でも水温が低く、瀬と淵が連続する変化に富んだ緩流部が存在すること。

生存の危機

落差工による移動の妨げ。移植放流個体との交雑。密漁。(A, C)

特記事項

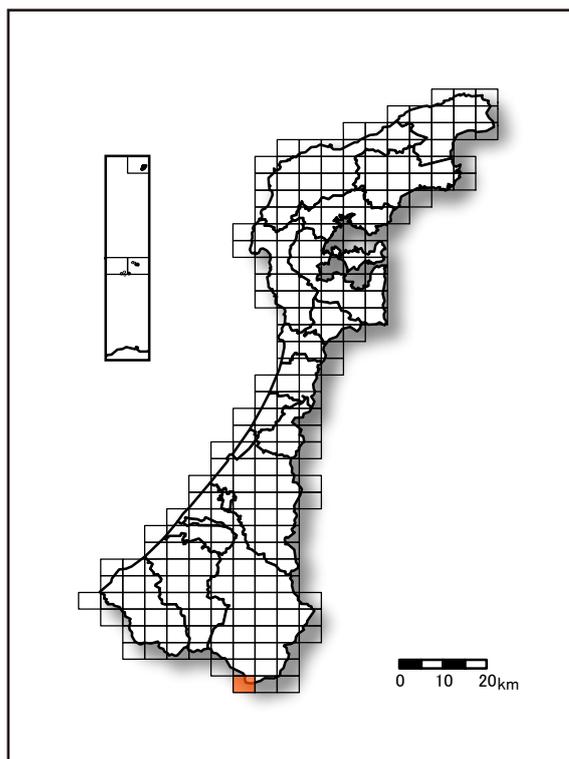
無斑イワナの生息場所は、通年にわたって禁漁区に設定されている。白山市指定の天然記念物。

参考文献

丸山隆・斉藤裕也 1987. 日本のイワナ手取川のイワナ. はくさん. 14:4-7.
吉安克彦 1996. 岩魚草紙. 朔風社. 東京.



写真提供者: 山本邦彦



県内の分布